



だが結婚し、家庭を持ち、子どもが生まれると、そうはゆかない。

生活の問題、つまりパンの問題は私の心に重くのしかかってきた。

にもかかわらず振り返ってみると二歳で会社をやめ、伝道の道に入ってから、五〇数年がたつのだが、驚くことに神は私に必要なパンを豊かに与えてくださっていたのである。

「あなたの神、主は、この四十年の間あなたとともにおられ、あなたは、何一つ欠けたものはなかった」(申命記 二の七)

と、イスラエルの民に神は言われたが、それは私への言葉でもあった。神は実にやさしい方だったのである。  
イエスも同じである。(続)

### 今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時から、  
第二礼拝は午前一一時から。

○教会学校は午前一〇時から。  
○説教は米村牧師。

### 先週の礼拝

\*\*\*\*\*  
○司会は西岡潤也さん。説教は、一ヨハネの手紙から「世を愛してはならない」について。

○礼拝参加者は、第一礼拝が四名、第二が四三名、合計八四名(男二七、女五七)。それに子どもが五名、合わせて八九名でした。

### 牧師身辺

\*\*\*\*\*  
先週も申し上げましたが、新しい本ができました。題は『イエスの処方箋』。長く教会を支えてくださった皆様に感謝を込めて、お一人に一冊差し上げることにいたしました。いつでも教会においてになりましたとき、お受け取りください。二冊目からは五〇〇円ですが、伝道に用いてくださったらうれしく思います。

\*\*\*\*\*  
二〇年前に『結婚・家庭・教育』という本を書きました。七ページほどの小冊子でした。いくつかの教会でそのテーマで

お話ししたところ、ぜひ本にしてほしいと言われ、まとめたものです。

本を書くのはそれっきりのつもりでした。ところが、その本が案外と好評で、多くの方がたに喜んでいただき、結局、その本を作った費用以上のものが戻って来ました。そこでそれを使って次の本を出し、それがまた

次の本になり、今度の本が「三冊目(熊本地震の記録)」とい山々が揺れ動いても』を含むと十四冊目)になります。多くの方がたにお役に立ててうれしく思います。

\*\*\*\*\*  
悲しい知らせです。ぼくたちの親しい友人で、静岡県掛川市で伝道しておられたジョン・ボストロム宣教師が天に召されました。病名は、自己免疫疾患とだけ聞いており、まだはつきりはわかりませんが、発病し、二日後には息を引き取られたと聞き、ぼくたちは、あまりの突然のことで、衝撃を受けています。ただ「なぜですか。主よ」と

\*\*\*\*\*  
問わずにおられません。彼ほどに愛と思いやりがあり、他の人の祝福を優先に考える人があったでしょうか。

\*\*\*\*\*  
ジョンさんは、愛の勇士でした。そのためのどんな労苦も惜しまず、しかもその行動は迅速でした。

\*\*\*\*\*  
熊本地震の時、ただちに電話をくれたのはジョンさんです。電話がすむと、翌朝には多くの援助物資を車に乗せ、遠く静岡県掛川から熊本に向かっています。一睡もせず走り続け、地震の二日後に、ぼくたちの前に現れたジョンさんを見て、ぼくたちは驚き、なんと真実な友をもったことかと感動し、また慰められたことでしよう。

\*\*\*\*\*  
そのジョンさんと、もう地上では会うことができないというのは、あまりにも悲しく、つらして三人の子どもさんたちはどんな気持ちでおられるでしょうか。どうかお祈りください。神の慰めが彼らとともにあるように。